

# 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2026年 2月 1日

事業所名：児童デイサービス アンソレイエ宝殿

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	法令に遵守したスペースを確保し、活動に際し安全に療育に取り組めるスペースを確保しています。令和8年1月に個室の拡張工事を行いました。	はい・・・15    どちらともいえない・・・4    いいえ・・・0 ・以前より広くなり過ごしやすそうです	事業所内のレイアウト等改善し、更に過ごしやすい空間づくりに努めます。
	2	職員の適切な配置	法令で必要とされる配置数に加え、児童指導員、保育士を1名以上配置(常勤換算による算定)しています。サービス提供時間には1日平均6名を配置しています。	はい・・・16    どちらともいえない・・・3    いいえ・・・0 ・手厚く専門的に見ていただいていると思います	お子さまの支援に必要な人員配置を、引き続き維持いたします。また、保護者の方には何人体制で活動しているか質問があればお答えします。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	事業所内は段差のない構造となっており、視覚支援にも対応できるよう努めています。令和8年1月、壁面にホワイトボードの設置を行いました。	はい・・・14    どちらともいえない・・・5    いいえ・・・0	都度、職員間で相談し、お子さまに必要な構造化、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境などの設備整備を行っていきます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	コロナウイルス等の感染症防止のため、清掃や除菌に徹底的に気を配り、環境を整え、円滑に活動できるよう日常的に取り組んでいます。		今後も、適正な環境を整えます。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	スタッフ間で申し送りのミーティング時に支援を振り返り、必要に応じ業務改善しています。		意見交換の場を意識し、最大限確保します。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	過去に第三者委員の外部評価を行っていただきましたが、近年は実施しておりません。		今後の課題とします。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	事業所内研修、外部研修等参加し、資質の向上を図っています。		職員のスキルアップを目的に外部主催研修に、積極的に参加します。またチームのスキルアップ向上の為、研修内容の情報共有を徹底します。
適切な支援の	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	日常活動を通じ、お子さまの特性理解に努めるとともに、お子さまの思いを尊重しながら保護者のニーズや問題などを踏まえて個別支援計画を作成しています。	はい・・・19    どちらともいえない・・・0    いいえ・・・0	丁寧な支援のつみ重ねが継続できるよう、努めていきます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個々の課題を大切にしながら、活動内容を検討し、計画に反映しています。		事業所の掲げる「集団活動」を通して「個別課題」をおりませながら支援に取り組めます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	ガイドラインの自立支援と日常生活の充実、創作活動や集団活動を中心に支援を行い、まとめています。		将来を見据え、自己実現を目標に支援が行えるように、引き続き取り組みます。
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	日々の活動の記録を取りまとめ、定期的にケース会議を実施し、個別支援計画の見直しを行っています。	はい・・・17    どちらともいえない・・・2    いいえ・・・0 ・さまざまな経験を積ませていただいています	丁寧かつわかりやすく支援計画をまとめ、取り組みます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	担当者が中心になり作成し、プログラムの内容を掲示し、チーム内で確認しています。また、月の活動目的を設定し一貫性のある支援の提供ができるよう努めています。		丁寧かつわかりやすく活動プログラムを取りまとめます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は集団活動や、個別課題を、休日、長期休暇は季節の行事、イベントや余暇活動も大切にしています。		平日では取組めないイベントなどを効果的に取り入れ、「楽しむ」「積極的に行動する」「約束を守る」など、目標を掲げ実施します。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	集団活動を中心に、ゲーム、運動、制作等、静と動のバランスを考えながら取り組んでいます。同じ活動でも内容を変更するなど変化をつけることも大切にに取り組んでいます。		今後も、活動プログラムが固定化しないように、様々な意見を出し合い取り組みます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に、「申し送り」の時間を設定し、職員全員で注意事項の確認をしています。		職員同士の意志の疎通が、スムーズに図れるような仕組みを構築します。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎等を実施しているため、支援終了後は難しいですが、翌日の振り返りに情報を共有しています。		職員全員が集まる申し送り時に、支援の振り返りを要領よくまとめて情報共有できるよう取り組みます。
	10	日々の支援についての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々のサービス提供の記録を基に、個別支援の検証や改善に努めています。		多様な視点の記録となるように、検証・改善に努めます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	日々の活動の記録を取りまとめ、定期的にケース会議を実施し、個別支援計画の見直しを行っています。		サービス計画のポイントを共有し、見直し等実施します。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参加	担当者会議には、お子さまの状況に精通した最もふさわしい者が参加しています。		引き続き会議等に積極的に参加し、情報共有や連携を図って行きます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	開所以来、医療的なケアの必要な児童の利用はございませんが、必要な場合は適切に判断いたしてまいります。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	開所以来、医療的なケアの必要な児童の利用はございませんが、必要な場合は適切に判断いたしてまいります。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	利用前のアセスメントの際には保護者からの要望等、聞き取りを行い、他事業所との情報共有に努めています。		適切な情報共有が望まれると思うので注視したいと思います。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	相談支援事業所の担当者と情報を共有し、卒業後も障害福祉サービス事業所等への情報提供を行っています。		適切な情報共有が望まれると思うので、慎重に取組みます。必要に応じて会議への出席も行います。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	子ども発達支援センターや児童通所支援支援事業所連絡会が主催する研修会等に参加しています。		これからも、研修会等に積極的に参加します。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	地域の児童クラブとの交流は、限られた時間内では実施できませんが、今後の課題とし、交流に努めています。	はい・・・3 どちらともいえない・・・9 いいえ・・・7 ・そのような機会があるのかわからない ・必要ありません	可能な限り、交流機会の確保を検討します。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の住民との行事は実施できていませんが、近所への散歩や買い物学習等で地域資源を活用しながら地域住民との挨拶や交流に努めています。		子どもたちが作成した「制作物」を展示スペースに掲示し交流を図ることを検討しています。
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に重要事項説明書を基に説明しています。	はい・・・19    どちらともいえない・・・0    いいえ・・・0	引き続き、ご理解がいただけるよう丁寧な説明に取り組めます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画を基に丁寧に説明しています。	はい・・・18    どちらともいえない・・・1    いいえ・・・0 ・モニタリングの際や日頃から方向性を合わせた話をさせていただけていると思います	引き続き、ご理解がいただけるよう丁寧な説明に取り組めます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者に対しては、共に考えることを中心とし、積極的なペアレント・トレーニングは行っていません。		「保護者と共に考える」ことから関係を密にし取り組みます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	子どもの過ごした状況等連絡ノーに記載し、自宅送り時に直接、保護者への報告を行っています。	はい・・・18    どちらともいえない・・・1    いいえ・・・0	「保護者と共に考える」ことから関係を密にし取り組みます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	ご相談いただいたことには、可能な限り共に考え、対応しています。	はい・・・18    どちらともいえない・・・1    いいえ・・・0	「保護者と共に考える」ことから関係を密にし取り組みます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母会や保護者会は実施していません。今後、必要であれば検討したいと思います。	はい・・・5    どちらともいえない・・・4    いいえ・・・10 ・必要ありません	必要であるようであれば、今後検討します。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情が寄せられた場合には、調査をしたうえで迅速かつ適切な対応に努めています。	はい・・・16    どちらともいえない・・・3    いいえ・・・0	現状の体制等、仕組みについて改めてお知らせします。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	保護者と相談のうえ、視覚支援による、意思の疎通や情報伝達に努めています。	はい・・・19    どちらともいえない・・・0    いいえ・・・0	現状の体制等、継続します。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	アンソレイエだよりとしてお便りをお渡ししています。また、行事の案内等は事前に連絡調整を行っています。不定期ではありますがインスタグラムの投稿も行っております。	はい・・・18    どちらともいえない・・・1    いいえ・・・0	定期的な会報の発行や、ホームページ、SNSでの広報の充実をこれからも図って行きます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報等記載された書類は鍵付きキャビネットに保管し、管理に努めています。	はい・・・19    どちらともいえない・・・0    いいえ・・・0	現状の体制等、継続します。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、周知に努めています。	はい・・・14    どちらともいえない・・・4    いいえ・・・0 ・わかりません	緊急時マニュアルをファイル形式にて提供いたします。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	非常災害の発生に備え、年2回、指定された避難所へ、避難訓練を実施しています。	はい・・・18    どちらともいえない・・・1    いいえ・・・0	年2回実施している避難訓練の状況を、連絡ノート等を活用し、報告します。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待マニュアルを作成し、研修会を実施しています。		今後も継続的に職員研修を実施し、研修会等へ積極的に参加します。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・・・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束についてのマニュアルを作成し、同意書を作成しています。		もしもの場合には、充分説明をし、書面等での記録を残します。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者の方へのアレルギー調査を行い、アレルギー対応を行っています。		今後も継続的に対応します。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例が起こった場合、報告書を作成し、職員間で共有しています。		今後も引き続き、職員同志の情報共有を図り、話し合いを実施します。